拾遺

下

和書目録

内閣文庫
和書
類 二五三八一
號
冊 一
函 二〇一
架 六

内閣文庫
番號 和 25381
冊數 18 (14)
函號 201526

国立公文書館
National Archives of Japan

宮内省圖書寮

拾遺愚草下

春

建久元年夏百首家の会 頭右衛門督

春

水ぬるむ春のうらなみ立ちかへり
遠に元日の浦の春の波
行く末の年の初の春の波
春毎に年の初の春の波
伝聞

行く末の春の日の光
行く末の春の日の光
消えぬ雪

一部類聚文庫

義久元年七月内裏会十首内野経朝
法印卒去山花
正応二年九月院初度会十首内
雪間花
建後冬歌
初恋
梅
梅
湖邊梅

一

建保四年閏六月内裏会十首中
土御門内大臣家会
春会頭六首
中梅香袖
梅花
翠梅誰家

一二

内裏三首会に水辺柳

まへの岸の青柳のいとかけてけふも世々経し水の白糸

同題 家會

流るゝもくるしき糸の玉柳こそひきかへしつゝ

江上霞 内裏三首会

ちるなみもかすみにあくる浦風にいづくの心あるらんやまひとみゆらん

建保二年二月内裏詩歌合 当座 霞

うつる江の月をもみつゝ遠山にまだ夕ぐれのかすみこめたる

梢の雪も消えしかど今はたゞ春の霞の遠山の

建仁元年三月尽日三首会 霞隔遠樹

行く春の跡をしたひて霞こそ遠の梢をへだてゝもみよ

野中見花

ひとりきて花のかげにてくらしつゝ春の旅人

内裏詩歌合 山路春曙 二首中

かへりても散りしく花の春のあけぼの

内裏三首会 旅泊帰雁

ふねのうちに月の都をへだてつゝかへる雁かな

海辺帰雁

いその浦の塩やく煙の春の夜も帰る雁がね

賀茂社三首会 御当日 暁帰雁

花の香もかすみてのこる明がたの帰る雁がね

春山花

雑

春の花のさかりもすぎて山のはの

旅路の末のかぎりなき

[illegible]二首よみ侍りける　此二首は歌合 後度連々注進事

花洛山気色

春乃くもくりのすそよりつゝ山かつらかゝる衣かへかゝる
むさくしかすら帰りゆきてやみ見るゝ所ゝくゝる春風

正治二年三月左大臣家三合暁霞

初せ山かたふく月もほのゝゝと霞よりもるゝ鐘のをとかな

朝花

このつてよしのゝやとゝみよし山桜と朝やむすひけ夏衣

建保三年五月哥合　和哥所　春山朝

このまゝわさけは山の春かせて霞はれゝて花のにほひもなき

建仁二年三月三躰よりやまと哥
春哥

こえきける霞のそらの気色ゝて春の山の風
春の人よよみ侍りし五首の中　花哥
大宮人の袖ふれしゝ桜か山乃春のあけほの

三宮十五首の中

りかしら峰や二月の雪ゝこゝめ春の夜はゝつれ
みよし野は春のよしのの霞にて

建久五年左大将家哥合　霞隔遠山

竜田の春も山乃かすみそむかふ山は春のあけほの

同六年二月同家五首春哥

山乃はそめのそのつの花の月
花乃さかりはたえてゝみすしも
ねよす花の桜の色もゝしき人のことよ

[illegible]

殷勤門院皇后宮[illegible]

[illegible]亮大僧[illegible]

[illegible]

[illegible]

建久七年三月[illegible]

[illegible]

[illegible]

中宮[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建保元年四月十四日院[illegible]

[illegible]

建保元年内裏詩会山中花夕

[illegible]

建保二年内裏詩会河上花

[illegible]

内裏[illegible]会[illegible]花

[illegible]

同詩会山居春曙　二首中

なよ竹の霞わけつゝ山桜ちるかたみの秋
建保四年閏六月内裏歌合春　十首ハ内
春たにも雲のへたつる花の里心の風にちるなるらん
正治二年九月十首歌合　落花
ほのかにも見えし桜もちりぬれは風のふく山の花の山かな
院よ詩を歌に合せてめされ侍し元久二年六月水無瀬殿
よしの山花の雲ゐにたちかへり春たにしらぬ物思ひかな
あふ坂の桜こそ山ものこれいさよふ山のはらかな
承久元年七月内裏歌合　深山花
山人のおのかいくよにちるもよし花の山
暮春雨
暮ぬる春の宮かやのこりなく山におく雲の春の風
承久二年二月
庭の面はみなみに桜咲にけりやよひのはなの
よしの山みよしのゝ春の花さかりかな
御会
やよ桜咲ちらすれは春の庭のかけ
閏二月八日御会近衛中将
かくはかりちるもおしまぬ桜花いつまてか見む春の
海辺花
しら波の花ちるかけの春の風
河上花
みよし野の川風さむみ花の影
花はたゝ我身にきえぬ春なから
吹風に桜ちるこそ春のあはれなれ

[illegible]花

月[illegible]

[illegible]

門の[illegible]

[illegible]大納言家[illegible]

山[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

山家[illegible]

[illegible]

三位中将公衡卿家[illegible]三月廿

日

夏

春[illegible]思花

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

寛元二年祭使の人々によみてつかはしける

むかしにやかへるの山のあふひくさかけてしのはぬ袖のしら露

かへし　権少将忠明朝臣

かけてたにおもひもよらぬあふひくさかへるの山のなをやたのまむ

建保三年六月和歌所当座夕郭公

わか宿の松の木すゑをすみかにて夕くれことになく郭公

建久六年二月左大将家五首夜

菖蒲ふく軒のしつくもたまちりてさつきの夜はの月そすすしき

建久二年民部卿経房卿家歌合郭公

かたらひしむかしの人もわかれにし五月の空になく郭公

三位中将公衡卿家

よしさらはのきはの露もほしやらてしのふにかかる五月雨の空

附すきしよりもみちの色はかはらしを郭公なく五月まつ夜は

後京極摂政家一首菖蒲

まつかねのあやめをひくもしらすしてしけみかくれにやすらひぬらん

郭公

浦ちかき松の中山すきかねてしはしかたらへ郭公なく

建仁元年三月五日当座会寄月時雨

五月雨の空もひとつにかきくれてくらまの山に郭公なく

正治二年二月左大臣家当座会夕時雨

郭公なく五月雨の空はれてゆふくれかかる山のはの月

五月雨

玉水のかけもへたてぬ五月雨にみなそこふかくみゆるかけかな

八

[illegible]

建仁二年二月六日[illegible]

[illegible]

[illegible]元二年閏六月[illegible]

[illegible]

[illegible]

建保四年閏六月内裏[illegible]

[illegible]

[illegible]元年七月内裏[illegible]

[illegible]

水[illegible]

[illegible]

建保四年四月十四日庚申又首夜暁

建保二年六月和[illegible]

門田[illegible]

水[illegible]源

[illegible]

建久五年夏[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

山絹法

夏月見ずとまつのみさ山ぢみなせ海士蛍

権大納言家通

みつ[illegible]入ぬる物絹山

建仁二年六月みそかの夜

[illegible]六首題

[illegible]月上弦月

[illegible]川のみなかみ

海辺蛍

山家夏月

[illegible]

建仁元年三月晦日家合

[illegible]

[illegible]

建保四年閏六月四首

夏

秋

松尾社合

秋風 建暦二年

[illegible]

建久六年夏

秋

[illegible]

陽禁院

世やうさ秋やうるおもしろき秋の夜の神祇官

建保三年七月内裏七首

天河水うけてさらるひさむ秋つゆ宮こうるん

わ風ふくあきつゆ月ひてつゆ秋の夜

天川くらの波の秋夕ゆ長月やとそ中月

玉にのよ秋ゆ月ゆ秋ゆ秋夕月神祇官ゆ

あ風のうく和歌ゆ秋夕月神祇官ゆ

天河わたりゆ秋夕月神祇官ゆ

玉河めぐる先ゆ秋夕月神祇官ゆ

建久六年二月さかの家ゆ首秋

妹といへ歌ゆ秋夕月神祇官ゆ

内裏ゆ秋夕月神祇官ゆ

沢の月ゆ秋夕月神祇官ゆ

元久元年七月宮ゆ山風

ふりみ秋夕月神祇官ゆ

正治二年九月院初度の会山風

秋のあ山ゆ月ゆ秋夕月神祇官ゆ

建保元年内裏百首の会野の秋夕月

ひ風ゆ秋夕月神祇官ゆ

ふ秋ゆ秋夕月神祇官ゆ

同二年閏八月内裏の会秋

ふ秋ゆ秋夕月神祇官ゆ

建永元年内裏の会秋夕月

[illegible]

建永元年七月和歌所合　前参議

海邊月

[illegible]

建久八年秋　[illegible]

[illegible]

秋夜　[illegible]

[illegible]

[illegible]

正治二年九月院初度百首　[illegible]

[illegible]

建仁元年八月十五夜和歌所合　月前虫

[illegible]

月前擣衣

秋月

海邊秋月

[illegible]

湖上月明

[illegible]

古寺残月

[illegible]

源山暁月

[illegible]

野月嶽源

[illegible]

田家月

[illegible]

河月仙水

[illegible]

建保三年八月十五夜内裏月未作間

月[illegible]

月前恋

[illegible]

月前旅宿

[illegible]

建永元年七月十三日和哥所南殿月

[illegible]

元久元年七月宇治殿幸水月

[illegible]

正治二年九月[illegible]会山月

[illegible]

建暦三年九月内裏[illegible]会源山月

[illegible]

建久七年九月十三夜内裏中殿宴
秋月
初昇月
さやかなる光をそへて
傳年月
秋月
のこりなくひかりをそへて
紙
湖傾月
ゆくすえ秋のかたぶくまで
入後月
月はいりぬるあとのあけぼの
内裏
つもれるよはの雪のうへの月

建久二年法皇栖霞寺に御幸の時
幸のひさかたの月は
さらぬ山のみねの松の
九月十三夜内裏
山風
むさぶるかたのこゑ
建保二年九月十三夜内裏月前風
もの思ふ秋の夜の月のこゑ
建保六年八月十三日内裏中殿宴
秋夜侍
宴同詠池月久明
應製和歌
參議三位行民部卿兼伊豫權守臣藤原朝臣家

いくよをか神かけ山のみつのこゝろすめる池にうつる月かけ
神主重保賀茂社歌合とてよみ侍けるに　月
元暦元年九月　俊恵
さのへやしつみぬる身の秋かせにあはれをみする月かけ
左方
暁かたの山の光にきよみ衣の袖にうつる月かけ
旅宿月　権大納言家貞〔基〕
夕霧の露は月にやれてやとるらんこゝのへの人
建久五年八月十五夜左大将家　見月思縁
ゆかりのしらぬ月をみるにつけてもむかしの人そ恋しき
對月閑着
つれ〳〵やしらぬよの秋の月へてなかめしをいつの世の月
月染閑月
月を見るかすみへてある〳〵もやなかにはたの秋の光をとかは
元久元年九月廿七夜かくれつゝわれのみならちかはしこのよ
序題具卿　讀師太政大臣
松間月　應製　同上
木の間よりもるゝ月は千年のかけならしまつのこの代を契らむ
野邊月
君まちしむかしの野へをわけゆけはそれならぬ月の影をみるかな
田家月
あれはてしいほのあたりをとひよれはひとり月のすむらん
羈旅月
草の枕露にしほるゝ袖のうへにかりねの月のやとる白露

[illegible]

同夜南殿　　制和哥

八月十六夜詠既月夜遊

正四位下行左近衛権中將兼美濃守藤原朝臣[illegible]

[illegible]

建仁元年三月歌合　同上秋歌

[illegible]

建保四年閏六月内裏歌合　秋

[illegible]

建暦三年後九月内裏歌合　寒夜虫

[illegible]

建保三年九月和哥所歌合　秋路

[illegible]

建永元年七月十三日和哥所歌合　秋路

[illegible]

正治二年二月[illegible]家歌合

[illegible]

元久元年七月[illegible]

[illegible]

建仁二年三月六首　秋哥

[illegible]

建暦三年九月十三夜内裏歌合　江上月

[illegible]

暮山松

秋といへは夕日くれのみ見えて雲霧ふかきみねの松かえ

元久二年女院詩哥合山路秋行

旅まくら雨やあらしの山こえてつゆもしたえた

夕附日木末のまつは神はれて見やるも井のはし

建仁三年和哥所當座海邊鳥

ゆふなきの秋風とわたりて沙のかはすとねかねや

二首よりは文首かれし秋哥

鵲乃はしのゆくへはわかさらん世への萩の上の露

久方の月のかけ下おきやつゆそめてそてゆく

まつかき海邊に見もれつくさへは秋の夜はな

建久六年秋比大將家よそもとも

ほとゝきすなくや五月の花にもあつさの萩とつま

たえまなき秋の風の秋まやさしみ萩の上露

とへけねつかれと月の枝すくしみやさしみ萩のかきね

うつりかはりみそかはしか野に秋は月

いまここえしゆくふく二夜の山も秋の夕霧

物思ふ人の秋風くるゝよみ山の外つゆ

風そひくもりておきまか松かはそれもつゆの上

かけかなみやのよのまひゆくをくへ首ありて風まつ露

何となくらの月のさひしくやそらしもに

三十首わかみたちくれ秋風の夕暮に

ひとりねの袖ぬれてもみる暁の空

こゝろにふかき秋の夜をたてまつる秋文

深く入月のかつらの末葉まてうつろふ色はみえぬ秋の花

秋鹿

さしつらぬ家にもとめてうつ衣夜寒の秋はたくひ流るらん

秋香

中思ふ言葉の秋風にうつる袖のふ白菊

秋情

西窓に来る夜の山風によそはれてさびしき心ならん

秋夜

うちけし山鳥の尾のしたり秋やなかきを

同七年の秋内大臣家にて文字題をさくり

とりて木首の中に秋十

と藤原...秋風

前に梅く風ふきつつ下もみちて秋きたる

鳴蝉の秋のひくらしの声も山の端みちし

通ひてゆくきわたり梅かつられしけりやめつらしき

さきぬる西へつけてみる月のうつれ秋なみくのけ

梅わくわ年くたれ月涼みく夜ひとのさくよ

ちわぬれし夜ときりの秋萩のうみさかりに

しやも川みなくさら海さ行ゆの雨の秋の月

わりの夜もゆくもまくの家のさしき夜くらに

西门浦の西の衣に秋きていつかはしむる

内裏秋十首 合 秋風

おきぬれの風のくさしのみやうわまりの雨風秋の花

秋露

秋月

秋夜

秋花

秋月

秋虫

秋雁

秋水

秋霜

秋祝

秋振

秋思

秋恋

秋雨

秋山

秋夕

老て世にあらんもそのまゝ秋の月の夜

秋雨

ひぐれ海や秋のさゝ波ゆふ山ぶしの雨あは

仁和寺文書

義久二年八月秋雨

秋の夕べ山ぶしの雨はゆふ野の山や雨ふる

秋田

こゝ言の秋風ふきぬ田ぶ考ふ

秋田

ゆめあはぬ山ぶしの風ふきわる田のゆふ雨

秋雨

世やりうき雨ふるたびに秋の雨

秋祝

家ぶ祝ふりうれるさ秋山ぶ書ふて言ふ代にみ今

秋恵

ふつれぶをちりよりすゆ秋ぶをよるれてはふるゆ

秋夏

風さらく萩乃葉ふるゆうてみ夏ぶらそ秋ふる

秋猿

ぶくる神のうの秋月常ふ猿ふつやたりん

秋恨

ぶてうれむやるゆ秋風いそふ恨そ

秋新

とれるぶくゆ秋ぶ夏ふ秋の秋ふ

内裏秋十首

夏衣きてめつや川風のためしにも袖吹かへす秋の初風也
とのつらしいく世の人のむすびけん大井川原の里あはれ
つゆわけ秋乃白露あはのわたりの浦に猶月かけ
やすらはゞねざめの袖の秋くともなれて久しき秋のよの月
契りきて浦のちとせのこの海や渡る月にあかつき
雨にはつる月よりかはる露の契わけし秋もなき夜の寝覚
いくとせわ枕とふ菊よりもあけしあとの袖とふらん
秋の風そよぐ年乃いくよせまけさしていとゞあきの浦そ
よそにゆふつけ鳥の音にきゝ契よりも夕ぐれの人そこきゝゆき
山姫のしみにはみるさは袖よりこぼるゝ露の秋也

建保二年みなつきまで藤どの秋十首哥

應製哥　上

かくれかくむ岩のかね雪やとるもみぢ葉の月
浅茅はるとの笑顔ひさしき人は秋風を吹
大方は秋とてかやも玉かさす枕くはゝ袖はぬれつゝ
いく秋の令のやつれて浅茅かなる月まかせ
夕露をおきの萩のとけまさむゆきかぬ秋風
夕暮のひとむら山の雲はれて入るさき秋のゆふべ
めぐりこし月の秋はめぐりの影なつかしと雲かくせ
川波のよるみをなかれての影はよに風の荻のこゑ
浦きよき月の光にあけぬれば月のさす秋の
老の身の山のはに光さしてなるより月の人のに出

建久元年七月内裏当座同詠哥

[illegible]

題知無

寺山に来ゐて[illegible]

同塔[illegible]

萩の[illegible]

依月思秋

[illegible]

兼久元年九月日[illegible]

[illegible]

[illegible]

遠山曉望

[illegible]

暮天同鴈

[illegible]

知兼法師

[illegible]

建保六年四月十四日庚申五首秋朔

小倉山[illegible]

兼元三年九月新羅社[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建保二年九月十三夜内裏暮山知兼

時雨の降ぬる山人の家にあるかとぬりたる

對菊惜秋

いまはさく菊の初霜ふるまでに秋は日数と

紅葉見恋秋

三日川ゆくれなゐの水のこれなる井にうつれてやさしき秋のみ

九月廿三夜侍宴詠三首秋山月

さ月雨に山ぢはくらくてる月の雲ぬけのこるひかり

秋野月

冬ごもりの野の草の月新しく初の花ぬめ花ぬ秋野の色

秋夜月

ものおもふ秋ぞ月ぬ秋ぞ月ぬ

右大臣家百首の会秋原侍月

和泉式部

おくの山ぬ秋ぞ月ぬ

紅葉

ちりつもる昔の色ぬ染てぬる時雨ぬ時雨

河邊擣衣

こゝろ川ぬ八重ぬ衣ぬ打ぬ

元暦元年宰相中將通親卿百首内擣衣

さゝぬらひ衣ぬ秋ぞ冬ぬ

冬

正治二年毎月会のめしに時雨冬

この比ぬ冬の日数ぬ雪ぬ

時雨

山ぬ先ぬ時雨ぬ雪ぬ侍の人ぬ神の風ぬ

兼元四年十月家長卿日吉社へ詣て海を
へさかりしこのたんの時歌
ゆくすゑは海をてらすのあさぼらけ
時歌知時　松家
いつかわが身を越えわたる世の中に舞月歌海ともわ時歌をあらん
をしまの海　俊成
世の中をいとはぬ鶴とさそなを庵はなくを
山の井は清らけれども底深そ人の心をたれかしるらん
水鳥
池すむとうの月はあらぬ秋なれとこの名をかくす鶴
をしまの草

おり居る尾張の海士の塩焼の煙ぞ立ちのぼりける
正治二年十月一日流れ會歌　枯野鶴
あさ霧の立ちのぼりぬる秋の野に残りしかとの原
建仁元年三月歌日吉合歌
清輔朝臣　秋の葉末の露の吹かれ
建保四年閏六月内裏歌合冬
ふるさとの秋の葉末の露の
三文十八首冬
孫の月　雪の中の月　月の雪　海の月
ふるさとの月の雪　月の雪　海の月
正治元年十二月七日二条殿新宮歌合
冬の歌時雨

寒夜埋火

うつみ火のきえぬひかりとおもふにも床はさむしろ

文治三年冬侍従公仲卿家冬十首

あらしふくみねのもみぢのちりはてゝくもらぬ月にさえまさるかな

花のしらぬまぶりたに人めかれゆく庭の月けに

むかしより[illegible]ひとりのかにふりけりいくよかさなる

くもりなきよのまにかゝるしらくものふかくもなかに

かすかなる冬のやまさとの松風はこゝにさそはれこしかたの

昔ならさ花やのこるこの村時雨よそにさらぬやむかしをこひ

ぬ風のうへのしもの上にてあきさへつきぬにあはれはかなき

すみぞめのころも冬のよの霜と月にさえつゝもの

そのかみのいのちありしよりみしかな月のひかりをあはれむかし

人めなきかれのゝ原にあさ霜のしもにおきゐる月

なかなかにつらきこそあれ冬の夜の月

うちはらふ袖にもさえて冬の夜のこほりにけらし月

月のゆくそらのけしきもさえまさりひとりねの夜

ありあけのそらのいはまの月

かれてゆきける

ときはなる松のみどりもさゆるよの月

建久六年二月左大将家五首冬

冬のゝのさかりの雪のうへにさえゆくそらに

正治元年左大臣家冬十首家々樹夏松

冬されはまさにあはれのかなしみのよの空

池水半氷

[illegible]

山家秋月

[illegible]

閑居雪朝

[illegible]

水鳥知

[illegible]

[illegible]

湖上冬月

[illegible]

[illegible]

[illegible]

正治二年九月流[illegible]

[illegible]

同年四重[illegible]頭中将通具朝臣[illegible]

[illegible]

[illegible]

建仁二年三月六日冬[illegible]

[illegible]

建保四年四重[illegible]山月

[illegible]

[illegible]

[illegible]

行路蛍

[illegible]

[illegible]

建仁元年十二月八日八幡宮会社頭奏

[illegible]

月前雪

[illegible]

兼久元年七月内裏歌会冬氷月

[illegible]

杜間雪

[illegible]

正治二年二月[illegible]家会庭雪

[illegible]

建仁元年三月東宮会雪似白雪

[illegible]

梅花有詩宴会中松樹低

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建保四年東宮会十首中冬

[illegible]

正治二年九月院初度会暁雪

わかのうらへとまかりぬるをりに
建久六年九月将軍家の御供
にまかりのぼりたりしに
文治六年十二月廿六日被宣下
前内府禁庭宮
ふるさとのみやこの梅宮
なつかしき
山人のかたりぬるかやれみるまゝに志かなの
山家宮
梅月人の梅のはなたちぬるを
聖主宮
宮ちかくひとりの山ぶしかな

社頭宮
ちはやふるかみの年ぶる宮ゆゑ
寺宮
ちかひのみちにひかれぬるかな
宮中感人
かきくもりたゝぬ宮ゆゑ
宮中述懷
なにはがたなみのあしの根のかくれて
宮中遠恋
ねもしらぬ宮ゆゑ
宮中旅行
ちはやふるかみのまもりのあ
ちはやふる宮ゆゑ

建保六年　庚申　冬夕

冬のあさぼらけ　藤原定家

みよしのゝやまもとかすみたちこめて　山の端ゝ
あらはれゆくあけぼのの　空のけしきはいとゞ
こゝろぶかし　源実朝

ゆきはれぬ　藤原定家

ゆきはれぬ　ゆきはれぬ　ゆきはれぬ　ゆきはれぬ
ゆきはれぬ　ゆきはれぬ　ゆきはれぬ　ゆきはれぬ
ゆきはれぬ　ゆきはれぬ　ゆきはれぬ　ゆきはれぬ

正治二年二月廿五日家令卷之述懷

山かぜ　藤原実朝

みちのくにとしをへぬれば　ふるさとの
ゆきのしたもえ　ゆきのしたもえ

松竹　藤原定家

恩の伝授　藤原定家

我恩命沢　藤原定家述懷

ゆきのしたもえ　ゆきのしたもえ
ゆきのしたもえ　ゆきのしたもえ

同今山家懷旧

ゆきのしたもえ　ゆきのしたもえ
ゆきのしたもえ　ゆきのしたもえ

[illegible]今歳[illegible]兼久三年
[illegible]
賀
建保二年九月十四日和哥所歌合秋
[illegible]
建仁元年[illegible]
[illegible]
[illegible]
建永元年八月十六夜[illegible]
[illegible]
秋[illegible]
正治二年二月[illegible]

[illegible]
建久六年[illegible]将家[illegible]
[illegible]
建仁元年二月晦日[illegible]神祇祝
[illegible]
正治二年九月[illegible]十首神祇
[illegible]
[illegible]
[illegible]
建仁三年十二月入道[illegible]和哥所[illegible]九十賀
[illegible]
[illegible]

兼久二年行幸会

竹のまん乃みさきのはし秋にかれし月はみつ[illegible]のみよは

仁和寺宮にて寄松祝

たきはみつの松も月のかつらもあひにかはみすして

建保三年八月百首松頌年

まなこの露をいて世の[illegible]をはしはし波松の末まてかうて

一条家にてはしめて栽松と[illegible]題を[illegible]

七十代にまちつね[illegible]も岩のうへに千世乃かけぬ松せてむ

夕松風　和家十

松に吹風乃みたれは都まて八千代かさねてへおもふらん

建暦二年となのみそきことのは人生まれて　次日

中将雅経朝臣

まみ[illegible]らて[illegible]ひとさかへ川の手に永きよに[illegible]そのみそき御かたし

たし

君か世乃世に千代かへ見よ[illegible]ひてもかかりの川の瀬

皇后宮大夫権亮右衛門督成久ゆるされてしま

いつくしまりに御撰集に菊の下と

ぬまされりとみて次の日

白菊乃ほこ[illegible]のきく[illegible]にたくはへ松にあらむ

あし

あかつきの霜にまてと白菊が[illegible]のさしてふ　八けなく所に

少将よまつらに[illegible]てしか[illegible]中将成は

くるみあかりてかわかの[illegible]は三日と[illegible]て

これさ[illegible]にて[illegible]つ日桜かまつ[illegible]心のあのやみやらん

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] 宮内卿

[illegible]

[illegible]

水無瀬殿[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

文内卿乃子[illegible]

[illegible]

[illegible]

右之情潤乃子孫少將[illegible]

[illegible]

[illegible]

日吉祢宜[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

元久三年正月[illegible]陽院殿　御宴

應製　　藤原定家

[illegible]

[illegible]

[illegible]

拾遺愚草下

慈

建仁二年六月水無瀬殿歌合に

[illegible]

[illegible]

[illegible]

夏恋

郭ひ[illegible]

秋恋

[illegible]

久恋

[illegible]

暁恋

[illegible]

雪恋

[illegible]

霧中恋

[illegible]

山家恋

[illegible]

旅泊恋

[illegible]

関路恋

[illegible]

海辺恋

[illegible]

河恋

[illegible]

寿雨意

[illegible]

寿風意

白山社神の別当寺[illegible]

建久六年[illegible]

[illegible]

建仁元年三月晦日[illegible]

[illegible]

[illegible]二年二月[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建仁二年三月六角[illegible]中意

[illegible]

愚不今意　兼久同四月四日和[illegible]

[illegible]

兼元四年九月栗田宮[illegible]合寿月意

[illegible]

三宮十五首意[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建保六年四月庚申　久意

[illegible]

建永元年七月和尚不被忌憑面授
心要　　寂心

建暦三年三月内裏憑河　三首

建暦三年九月十三夜内裏会旅宿憑

建保四年閏六月内裏会憑

九月十三夜内裏寄海憑

人心うるおひぬるかはかりあるとも紙をは
建保四年内裏寄蘆憑
正治元年冬大内家冬十首会歳暮憑
住吉会旅宿憑
憑不離身
仁和寺宮花久首寄花憑
建久七年内大臣家歌合

北面之輩之意入有所思
神[illegible]乃至山の[illegible]
[illegible]の乃不[illegible]神のすゝ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
中納言[illegible]
[illegible]
建久六年二月[illegible]
[illegible]
建保[illegible]家六[illegible]
[illegible]

山家少意
[illegible]
兼久二年八月[illegible]
[illegible]
寿石不立　紅家
[illegible]
恩待立
[illegible]
寿寛立
[illegible]
隔遠路立
[illegible]

[illegible]山寺

貞永元年七月大殿の御願寺

[illegible]

寿鏡寺

[illegible]

寿[illegible]寺

[illegible]

寿[illegible]寺

[illegible]

寿[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

あれの吹ちらすこゝ地のうき雲をあと
さしの出るつゝやそつるの舞わりえのいわの池の
人めりをつゝつるこゝ地をしわやそと陽よりる
雨をこのあられみりをむのとをんられて地をうつる
むとひをあをうるにつわ川をそのひはをやこ
をのつゝあられをんこをいつそん屋への白色
ゝ屋をこ人をいるわかるつゝりをつゝのゆをる
樂をとをこゝとこゝ頼みをのつゝ樂をうつゝや
はをいるあわをそうをやをとをんをんをうん
ひをあるこゝ人はをそよみをく
をくをあををこつりをいるをみをわをいをを船をる
人乃をうをうる扇をの山屋をのをと

さをうをく立をこゝのの山をつを屋をみ刀を八
をのつゝをれをうこゝみをしををうを水をを
久をくををを

いとゝ海よりとをるかぜ
あもとたゝぬせゝのなさ
くらゐなるようんなる
ものくるしくやもとろ
まるけの乃ゆくさそ
ゆいつゝ春ゝ
ゆくよりあて
まつんと繁りくゝ
くゝをさゝ
ゆりぬ命とい

雜

設

伊勢初使のはてゝ
山中乃桜さかりなる
えそすきぬ行やもゝ
ゆゝ
ゆの春嶺乃さ
建暦三年八月内裏合山暁月
やゝ月ゆゝ
ゆの朔
ゆきゝけいさゝ
建仁元年秋和歌所合
山家松

[illegible]

正応元年冬右大臣家千首の合歌中歌

いつこゝろとはやくはかりそなれのかすみあし

同二年二月同家の合歌旅

[illegible]

建仁二年三月六日旅

神よ山はさそひしれの夏のみやまかくれの雨

建永元年秋和哥所の山

[illegible]

建保右大臣家の合歌中松風

[illegible]

[illegible]殿詩哥合歌中恋

秋のはつかぜ[illegible]

[illegible]

建仁元年十二月八幡の合旅宿

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建久七年内大臣家歌合

てす首ゑのうらみ中まよひのみち
[illegible]の水鏡[illegible]
[illegible]

仏尾寺合山家夕

[illegible]

内裏歌合山夕風

[illegible]

暁月

[illegible]

[illegible]

振泊

[illegible]

水無瀬殿の山のこのもとにて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建久文治年夏[illegible]

懐

[illegible]

[illegible]

[illegible]

義元のころ[illegible]
[illegible]
[illegible]

四條あはの殿時冬日越中守信義人々
同じかたらひて
[illegible]
[illegible]
山のひのもとにて
小侍従よりあるひとのもとつかはせる
[illegible]
[illegible]
[illegible]
まれまれにあるべきこと
西行上人みちのくにまかりて判をかきて
[illegible]
小侍従

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

行くくと
のくすて
ひろいろ
らしして
ゆとる川
ひさしわ
もろこ色を

及奇

[illegible]
[illegible]
[illegible]

むらさめ　清水の
はるのまつ　ながれ
ゆきかぜ　みなかみ
ふるさと　ゆくすえ
ちりぬる　ゆくすえ
あまつそら　みなかみ
ながめつる　ゆくすえ
ちりぬる　ゆくすえ
ながめつる　ゆくすえ
ちりぬる　ゆくすえ
ながめつる　ゆくすえ
ちりぬる　ゆくすえ

けれ
別
月
月
月

入道後

秋ちかしのにくらすに同じ秋をたのしちかく
三位中將なくなくての秋毋の世はかなくなりぬ
九月盡日山荘にて

とし月をかさねのこしかたをかぞへつゝ人くとあ秋をたに
三ちかゆゑにこゝろをあく秋の月はこゝろ神はこゝろ
ちかくこゝろ世のあ
みなへしのみさかりの秋の花をたにかくらしてそれ
わけこゝろひとしきしの秋の花をの
よりあへし秋をこゝろの秋
ねこゝろあり秋の花あさちふ
まこゝろのすゝみ花をたにかくらしてそ秋やいな
とやまこゝろのこゝろ秋花秋ちかくあり
けこゝろ
言の秋をこゝろへて

[illegible]
[illegible]
人の世の[illegible]
[illegible]
[illegible]

ち年はみぬけうの若ふぜをそなひて松よりはうちはれたる
ありてこの世のかぎりとおもひて出やのあしたをみぬるる
慶長元年二月十六日西行上人遠国ゆきの
なるおもひわすれがたくうつり同て三位中将
のうた
ながらへばまたこのごろとしぬる身はなほ恋しきふるさとの月
上人先年称云
称ゆくへ見のすゑにまつ月のこの月のうち
月のうち　と年十六日申日
かたぶけ
ひさしきこころもとなくそなたをかたらひ
後京極殿御歌
ながらへばいつしかこのよのあはれまで
わくるる日宮内卿
ながらへばまたこのごろとしぬる身はなほ恋しきふるさとの月
上人先年称云
称ゆくへ見のすゑにまつ月のこの月のうち
月のうち　と年十六日申日
かたぶけ
ひさしきこころもとなくそなたをかたらひ
後京極殿御歌
ながらへばいつしかこのよのあはれまで

いつすてゝ行ゆくゑ思ひかねてなきて行ぬ思へん
あはれさを今ハかぎりの物いひにそへて心をしるべ
清ぬ七みれい間の御詠歌ようこの注を思ひ

恵僧ゆ[illegible]

せきもあへぬなみだ[illegible]
紅のなみだ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

又の年三月七日ゝよりはじめて太閤
四十首れうの代ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

西中院殿

六条三位家衡卿

義元四年三月七日大将家

大将家

義久元年六月廿日安院御忌日蓮華心院

道年蓮祝院

新御所

国立公文書館
National Archives of Japan

つさの日
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

湖上晩望

おかのうへやのこすゑのうすもみぢ
はるばるなりてみるうみのなみ

中宮寺社頃

ちるやはるく海のみやけのあきはぎ
はつかのあ

きよみがせ八月十五夜

山家月

みやまぢはかすかにかよふ海ぢかぜ
新宮海邊残月

ほのぼのとあけゆくあまの天の戸にすまるつきの
庭上冬菊

おとこやまの風の吹ぬ夕べ
曉聞竹風

あかつきの竹のこゑはなにまさる
那智深山風

ゆのみねのあらしのこゑはなにまさる
湖間月

やまぢのひかりをしるべにみるやうつきの
ちるもみぢ

ちるもみぢ葉の色のあはれなるかな
中宮寺にて又海をうかべて遠近蓮葉

ゆくすゑはかすみのうへにうかぶ
蓮間の波

[illegible]

道のかの山路月

袖の雪はらはらと梅みし山路はさえ冬月夜

曉初雪

冬ふかさ年の雪とこそ[illegible]

深山紅葉

みやまぢのもみぢ[illegible]

海辺冬月

[illegible]

川辺落葉

[illegible]

[illegible]

いとはるかなる旅の空とおもふ冬の月哉

羇中寒

冬の月日数[illegible]

[illegible]

[illegible]

釋教

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

力

[illegible]

作

[illegible]

同

[illegible]

縁

[illegible]

果

[illegible]

雑

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

報恩會勸持不

涌出不

[illegible]

分別功德不

[illegible]

屬累不

[illegible]

[illegible]

[illegible]

六歌

[illegible]

七歌

[illegible]

八歌

[illegible]

無量義經

[illegible]

普賢經

[illegible]

心經

[illegible]

無量義經の[illegible]人のよ[illegible]

[illegible]

一解脫房の[illegible]人のもとめ[illegible]

[illegible]の花蓮のあさ[illegible]

西行懷舊

[illegible]

金剛讃歌

[illegible]

金光明家勝王經王法論不可國內五人盛衰

利益

[illegible]

[illegible]

二条殿

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]月前念佛非人教類依追之在奥

西[illegible]

草庵忌帰

[illegible]

曉天懐舊

[illegible]

[illegible]

旅宿時雨

[illegible]

船中述懐

[illegible]

厭離穢土

[illegible]

欣求浄土

[illegible]

掬無井氷言志

[illegible]

於能登精舎帰事

[illegible]

遁世[illegible]家長朝臣

[illegible]

[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan